



带状疱疹って どんな病気？



带状疱疹とは

带状疱疹はヘルペスウイルスの一種である水痘(水ぼうそう)・带状疱疹ウイルスが原因で起こる病気です。带状疱疹にかかる人は年々増加傾向にあり、**80歳までに約3人に1人が带状疱疹を発症する**とされています。加齢、疲労、ストレスなどによる免疫の低下が発症する原因の一つと考えられており50歳代から発症率が高くなります。

带状疱疹の主な症状

体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが多数集まって带状に生じます。症状の多くは上半身に現れ、顔面、特に目の周りにも現れることがあります。通常、皮膚症状に先行してムズムズした痛痒さが生じ、その後間もなく赤い斑点が現れると、ピリピリと刺すような痛み強くなり、夜も眠れないほど激しい場合があります。多くの場合、皮膚症状が治ると痛みも消えますが、神経が損傷を受けることで痛みだけが残る「带状疱疹後神経痛(PHN)」と呼ばれる合併症が起こることがあります。その他、目や耳に症状が出たり、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残ったりすることもあるので、带状疱疹と疑われる症状があった時は**一刻も早く(痛みが増す前に)**かかりつけの病院や皮膚科で診てもらおうようにしましょう。

主な治療薬

带状疱疹ウイルスに対しては抗ウイルス薬、痛みに対しては痛み止め(鎮痛剤)の治療が行われます。軽症から中程度の場合には内服薬(飲み薬)で治療することができ、症状が重い場合や免疫力が低下している場合には入院による点滴が必要になることがあります。また、症状がごく軽症の場合やすでにウイルスの活性化が抑えられている場合には塗り薬(軟膏など)が使われることがあります。現在、薬局やドラッグストアでもかぶれや炎症止めに使う塗り薬などが販売されていますが、ステロイドを含む薬は带状疱疹を悪化させてしまうことがあるので、自己判断での使用はせず、医師や薬剤師に相談してください。

再発はしますか？

带状疱疹は一度だけでなく二度、三度とかかる場合があります。発症してしばらくはウイルスに対する強い抗体ができるので、1年以内に再発するのは極めてまれです。再発の際は、初めて発症した部位と大半が異なるといわれています。

带状疱疹は人にうつるの？

带状疱疹は他の人からうつって発症する病気ではありません。しかし、乳幼児や水痘にかかったことのない人や免疫力が低下している方に水痘・带状疱疹ウイルスをうつし、水痘を発症させることがあります。水ぶくれを直接接触などの接触感染や唾液からの飛沫感染をすることがありますので、タオルの共有は避け、症状ある方のお風呂は最後にする方がいいでしょう。

おわりに

50歳以上の方は、ワクチンを接種することによって带状疱疹を予防することができます。成人の90%以上は带状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜んでいると言われており、発症や重症化の予防、重い後遺症が残らないためにもワクチン接種による「**予防**」が大切です。ワクチンは带状疱疹を完全に防ぐものではありません。また、接種できない人あるいは、注意を必要とする人もいますので、接種にあたっては医師に相談してください。日常生活においては带状疱疹が発症しないように疲労、ストレスのない規則正しい生活を送るようにしましょう。



【参考】

・NIID国立感染症研究所HP
・带状疱疹予防.jp グラクソ・スミスクライン株式会社
<https://taijouchoushin-yobou.jp/>